

<b>20018 女性学</b> Women Studies		1 年次～ 後期 2 単位	
担当者	川上 美智子	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関連資格	教職・社教(C) 社教(E・Pe・Pc) 教職(W)
サブタイトル	輝いて生きるために		
授業内容 ・ ねらい	1975年の「国連婦人の10年」を起点とする男女平等に向けた数々の取組により、社会や生活に残された性差別や固定的役割意識は解消されつつあります。国においても、男女共同参画社会の実現を21世紀のわが国社会を決定する最重要課題と位置づけ、平成11年6月に「男女共同参画社会基本法」を制定し、平成12年には「男女共同参画基本計画」を策定し、更に平成17年12月には「男女共同参画基本計画（第二次）」を発表しました。 本講義では、20世紀の女性解放運動の系譜、社会システムに組み込まれた差別の構造、日常（結婚、家庭、職場等）の中の差別解消に向けた国や行政の取り組み、少子化対策の進む先進諸国の施策などを取り上げ、少子高齢社会における男女共同参画のあるべき姿を明らかにします。		
授業計画	<授業計画> 1. 性と性差 2. 自我形成と自立 3. 差別の歴史と構造／日本における性差別の歴史 4. 女性学の誕生と背景／アメリカ女性解放運動史 5. 現代のフェミニズム理論 6. 結婚と家族の中の女性学 7. 職場における女性学 8. リプロダクティブ・ヘルス・ライツと暴力の根絶 9. 地位向上に向けての動向 10. 日本の少子高齢化と女性学 11. 先進諸国の少子化対策 12. 男女共同参画社会とは 13. ワーク・ライフ・バランスの実現 14. 女性のチャレンジ支援 15. 生活困窮者への自立支援		
教科書 参考書	毎回、レジュメを配布します。参考図書は随時紹介します。		
評価方法	出席状況とレポートで評価します。		
事前準備学習 履修条件等			